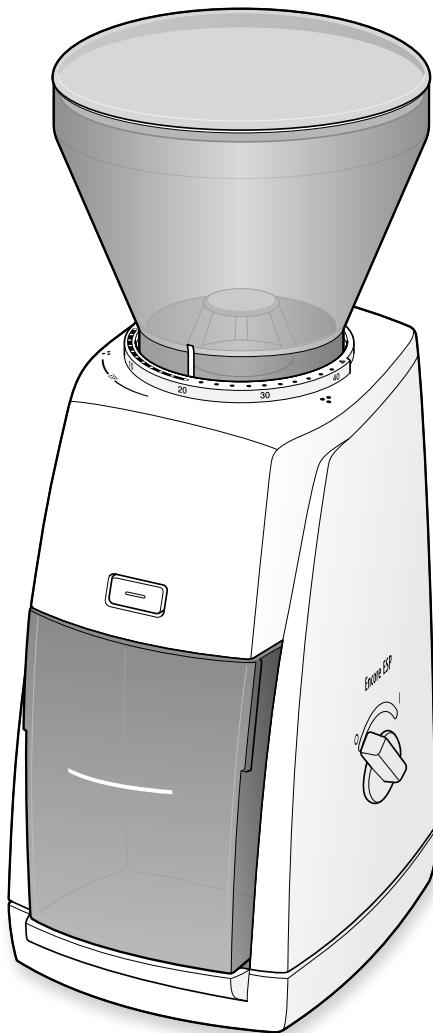


バラツツア コーヒーラインダー

Encore ESP

(アンコール イーエスピー)

取扱説明書



安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
各部の名称と付属品	5
初めてお使いになる前に	6
使用方法	9
お手入れ	11
刃のお手入れ	11
コーヒーの粉が固く詰まっている場合は	12
ホッパーのお手入れ	13
こんなときは	14
消耗品	15
ご購入が可能な消耗品	15
アフターサービスについて	15
保管方法	16
廃棄について	16
仕様	16

このたびは、バラツツア コーヒーラインダー「Encore ESP」をお買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

〈表示の説明〉



警告

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければいけない「指示」内容です。

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



警告

■ 電源コード・電源プラグについて



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

● コード・プラグの修理は販売店にご相談ください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。

定格 15A (100V) のコンセントを単独で使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外の電源では使用しない。

火災・感電の原因になります。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

感電の恐れがあります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取る。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



警告

■ 製品の取り扱いについて



当社に認定されたサービスマン以外は分解・修理・改造をしない。(電源コードやプラグを含む)

製品が正常に作動せずに感電、火災などの原因となります。



異常が発生した場合には、速やかに電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜く。

● すぐに販売店もしくは、弊社コールセンターにご連絡ください。



付近でガス漏れの可能性がある場合には、直ちに使用を中止する。

- 使用しているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。



本体の内部にある部品や電気配線に触れない。

感電の原因となります。

当社が推奨または販売していない部品を使用しない。

火災・感電・けがの原因となります。

小さな部品は乳幼児の手の届くところに放置しない。

誤飲の恐れがあります。



子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせない。乳幼児の手が届くところで使用しない。

火災・感電・けがの原因になります。

動作中に電源プラグを抜き差ししない。

火災・感電の原因になります。



本体や電源プラグ・電源コードを水につけたり、水をかけたりしない。

水ぬれ禁止 ショート・感電の恐れがあります。

⚠ 注意

■ 電源コード・電源プラグについて



電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

■ 製品の取り扱いについて



刃は鋭利なため、手を切らないように注意する。

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなう。

感電・けがの原因になります。



本体を落下させたり倒したりしない。

けがや故障の原因となります。



火気の近くや水や蒸気のかかる場所で使用しない。

火災・感電の原因になります。

本体は水洗いしない。

感電の原因になります。



作動中にホッパーの中に手を入れない。

けがの原因になります。

接触禁止

使用上のご注意

■ 設置場所について

- 周辺温度が 10 ~ 35°C の水平な場所に設置してください。
- 直射日光が常に当たる場所、ほこりやちりが多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。
(故障の原因)
- ガスコンロ、電熱器、熱くなったオーブンなどの上やそばに置かないでください。
(熱によって変形し、故障の原因)

■ 製品の取り扱いについて

- 長期間使用しない場合は、本体内部に残っている豆を使い切ってください。
本体内部に豆が残っていると、次に使用するときに古い豆で抽出をおこなってしまいます。

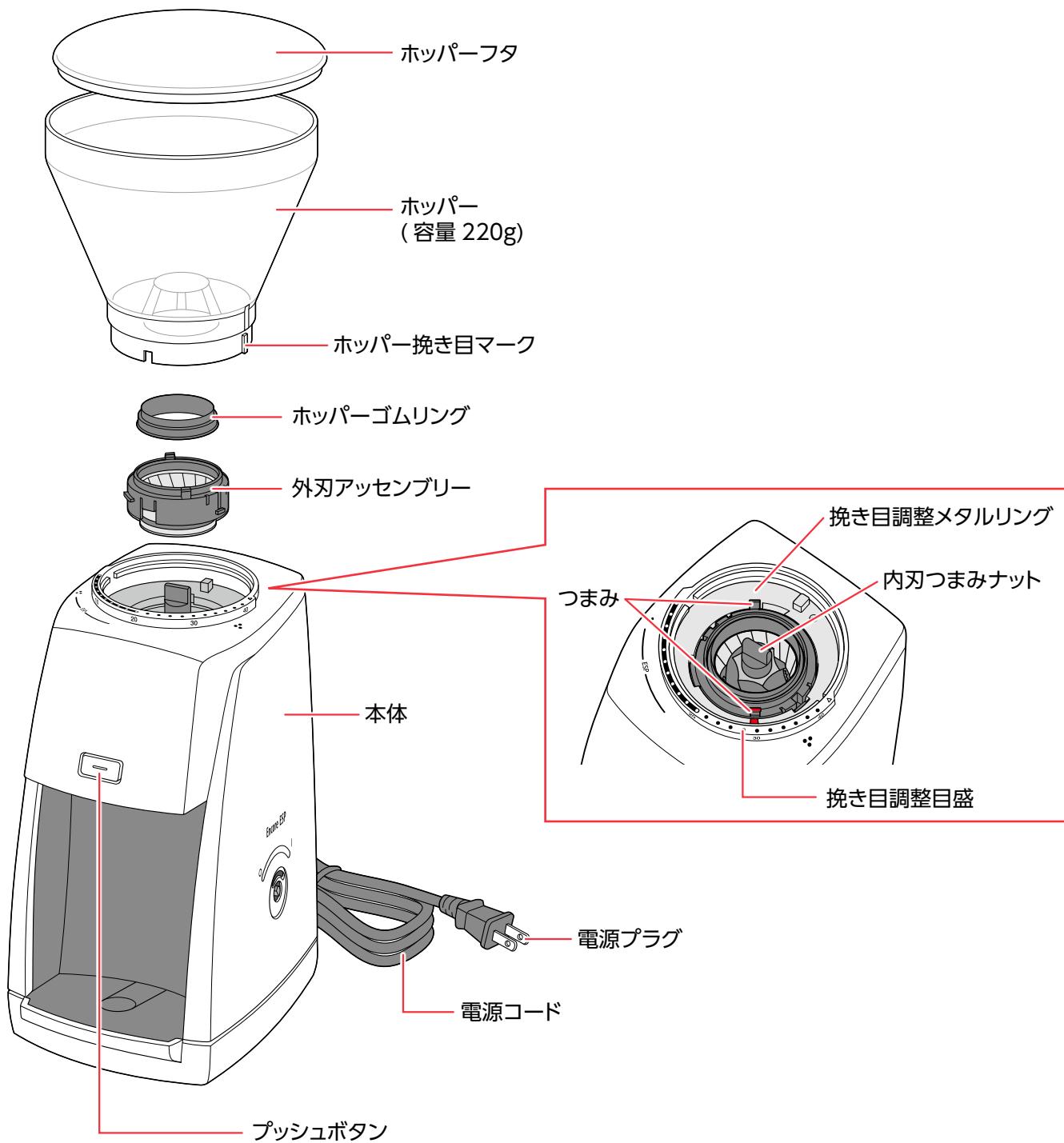
■ お手入れ時

- 焙煎したコーヒー豆を挽く以外の用途で使用しないでください。
(故障の原因)
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- 外した部品や機器の清掃に、乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。
(破損や変形の原因)

各部の名称と付属品

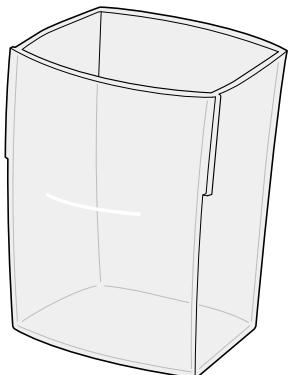
はじめに各部品がすべてそろっているかご確認ください。

梱包時の箱は、本体を保管するときなどに使用しますので、捨てずに保管しておいてください。



各部の名称と付属品(続き)

■ 付属品



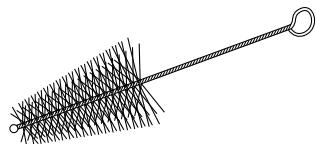
粉容器大 (容量 124g)



径 58mm アダプターリング

粉カップ小 (径 54mm / 容量 24g)

粉カップトレイ



清掃用ブラシ



内刃シム (予備部品 2枚)

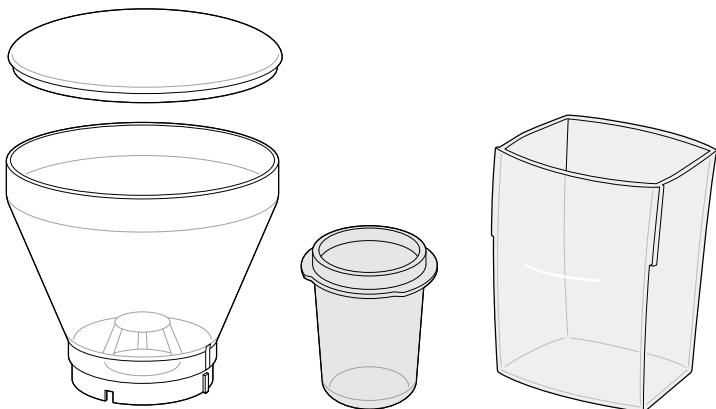


ON/OFF スイッチ

初めてお使いになる前に

1 箱から本体と付属品を取り出し、「ホッパー」、「ホッパー」、「粉カップ小」、「粉容器大」を食器用洗剤と柔らかいスポンジで手洗いし、しっかりと乾燥させます。

- 水洗いできます。
食器洗い乾燥機は使えません。



お願い

外刃アッセンブリーは水で洗わないでください。
錆びが発生する恐れがあります。

✗ 水洗い不可

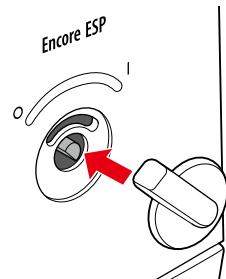


初めてお使いになる前に(続き)

2

ON/OFF スイッチを本体に取り付けます。

本体の右側にあるスイッチの軸の形にスイッチの軸穴を合わせて取り付けます。

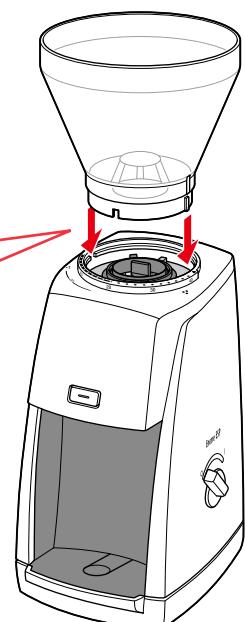
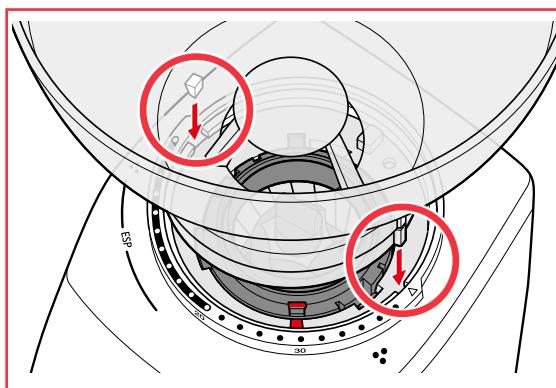


3

本体にホッパーを取り付けます。

ホッパー挽き目マークを挽き目調整目盛「40」の近くの△の位置に合わせ、凹部にはめてから、時計回りに回して取り付けます。

●刃の上に置かれた乾燥剤は取り除いてください。

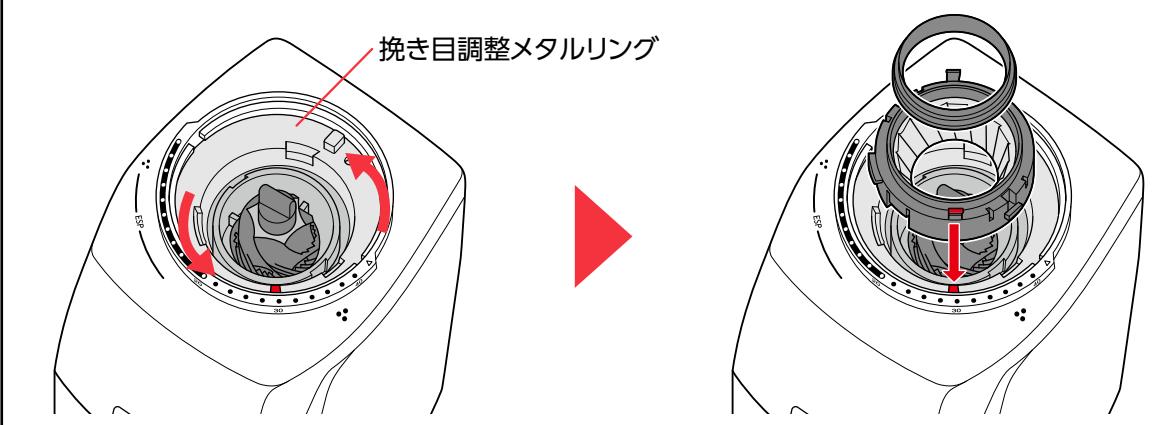


ホッパーの取り付けがむずかしい場合

外刃アッセンブリーが水平に所定の位置に収まっていることを確認してください。

外刃アッセンブリーが傾いている場合は、外刃アッセンブリーを一度取り外して、挽き目調整メタルリングの凸部に指をかけて、リングを反時計回りに完全に回転させてください。

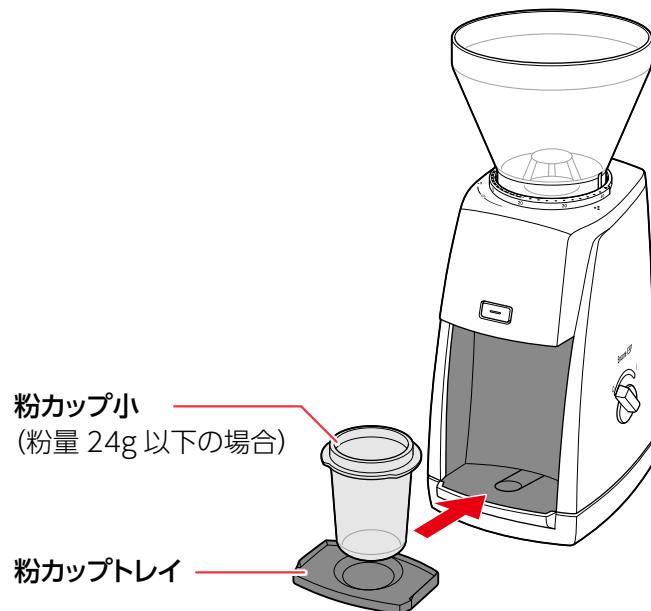
その後、外刃アッセンブリーの赤印を挽き目調整メタルリングの赤印に合わせて水平に所定の位置に収めます。



初めてお使いになる前に(続き)

4

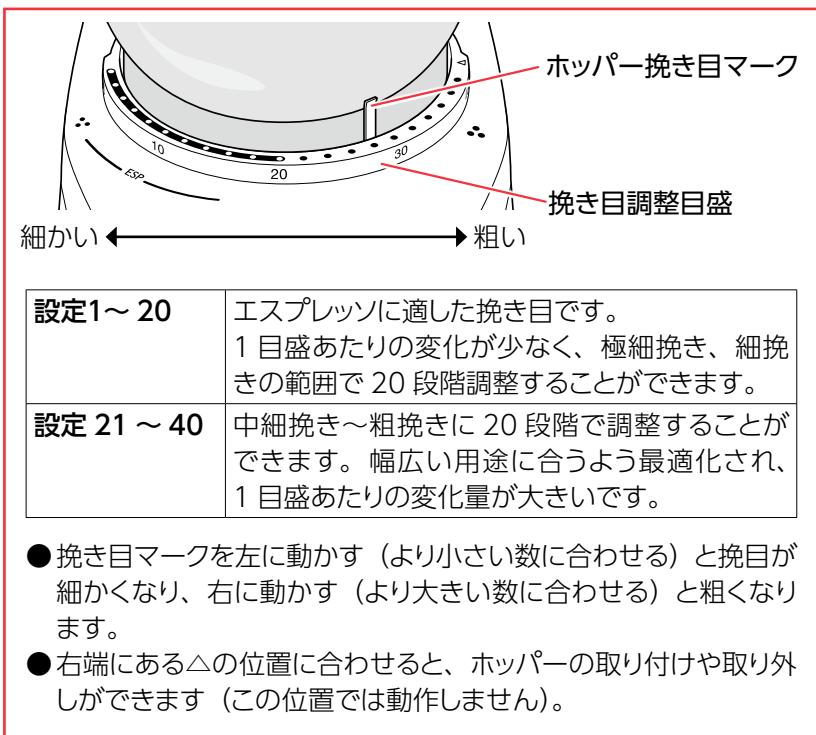
粉カップトレイと粉カップ小、または粉容器大をセットします。



使用方法

1

ホッパーを回転させて、挽き目を調整します。



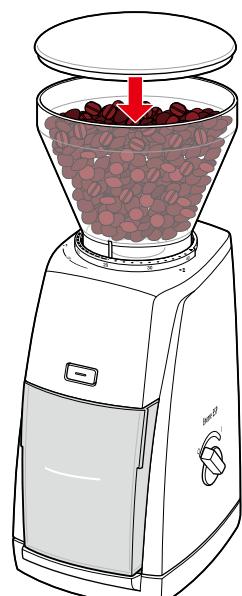
お願い

挽き目調整目盛が「0」の位置でもグラインダーは始動しますが、内刃と外刃が接触して刃を傷める可能性がありますので1～40の範囲で使用してください。

2

豆をホッパーに入れます。

ホッパーフタを外し、焙煎したコーヒー豆をホッパーに入れ、ホッパーフタを閉じます。



3

電源プラグをコンセントに差し込みます。

使用方法(続き)

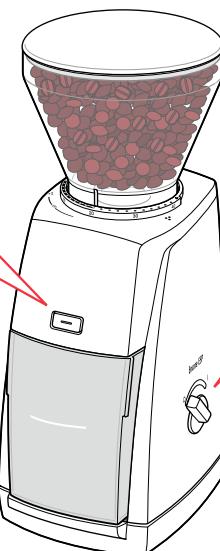
4

ON/OFF スイッチ、またはプッシュボタンを押して豆挽きを開始します。

- 豆挽きを開始する前に、粉カップトレイと粉カップ小、または 粉容器大がセットされていることを確認してください。
- 容器の中央付近でコーヒー粉が盛り上がった状態になります。目詰まりを防ぐために、粉容器大に印刷された白色の最大ラインに達する前にグラインドを止めてください。

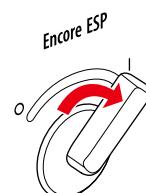
プッシュボタンの場合

ボタンを押している間だけ運転します。
ボタンから指を離すと運転が停止します。



ON/OFF スイッチの場合

スイッチを ON (|) の位置にしている間、連続で運転します。
スイッチを OFF (○) の位置にすると、運転が停止します。



お願い

- 豆挽き中はグラインダーから目を離さないでください。
- 焙煎したコーヒー豆を挽く以外の用途で使用しないでください。
- 連続 60 秒以下の範囲で使用してください。
- 挽いた秒数と同じ秒数以上休ませてください。例えば 30 秒挽いたら、30 秒以上休ませます。

- ご使用開始直後は粉のサイズが変化しやすいため、同じ粉サイズにするために目盛の微調整が必要になります。
- パドルホイールや粉排出口に挽いた粉が少し残るので、投入豆量と挽いた粉量には若干の差があります。
- 挽いた粉がパドルホイールや粉排出口に詰まったまま使用すると、グラインドスピードが遅くなったり、細かな粉が増えたり、コーヒー粉に押し固められたような「かたまり」が含まれ、粉の密度がばらつくことがあります。定期的に手入れをしてください。

5

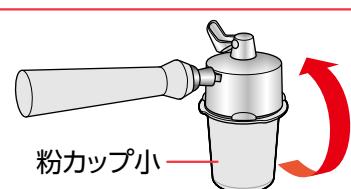
豆挽きが終わったら、粉カップ小、または粉容器大を本体から取り出します。

! 注意



コーヒー豆を挽き終わったら、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

エスプレッソ ポルタフィルターに移し替えるときは、ポルタフィルターの底を上にして粉カップ小に上から押し当てた状態で、上下逆さまにすると、粉がこぼれることなく移し替えることができます。



お手入れ

⚠ 注意



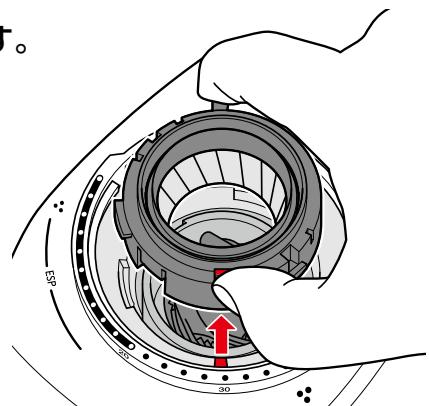
プラグを抜く

- お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 内刃は鋭利になっているので、指を傷つけないようご注意ください。
- 本体を水洗いしたり、水拭きしないでください。

刃のお手入れ

1

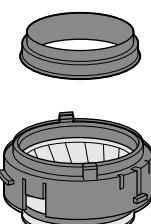
外刃アッセンブリーのつまみを持ち、真上に引き抜きます。



2

ホッパーゴムリングを外し、外刃アッセンブリーを清掃します。

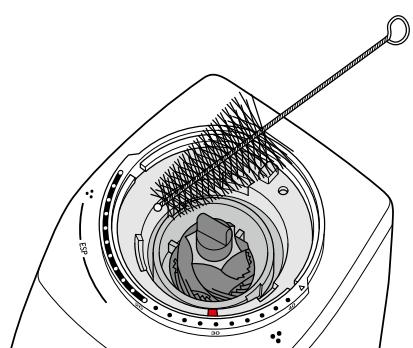
外刃に付着したコーヒーの粉を清掃用ブラシで擦り落とします。
仕上げに乾いた柔らかい布で全体を拭きます。



3

本体の内刃とパドルホイールに詰まっているコーヒーの粉を清掃用ブラシでほぐします。

その後、本体を上下逆さまにしたり、掃除機で吸引するなどしてコーヒーの粉を取り除きます。

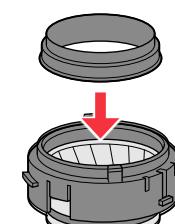


4

ホッパーゴムリングを外刃アッセンブリーに装着します。

外刃アッセンブリーにホッパーゴムリングと外刃 O リングが正しく装着されているかを確認します。

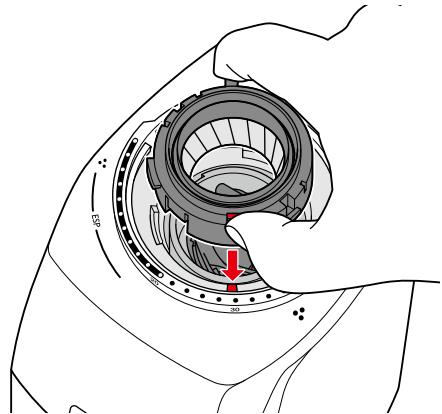
破損した場合は部品を交換してください。これらの部品が破損していたり、なくしたまま使用すると、粉のサイズがばらつく、豆を挽く際の騒音が大きい、コーヒーの粉が本体内部に入り込む、外部に飛び散るなどの原因となります。



外刃 O リング

お手入れ(続き)

- 5** 外刃アッセンブリーの赤い印を本体の赤い印を赤印に合わせて水平に取り付けます。

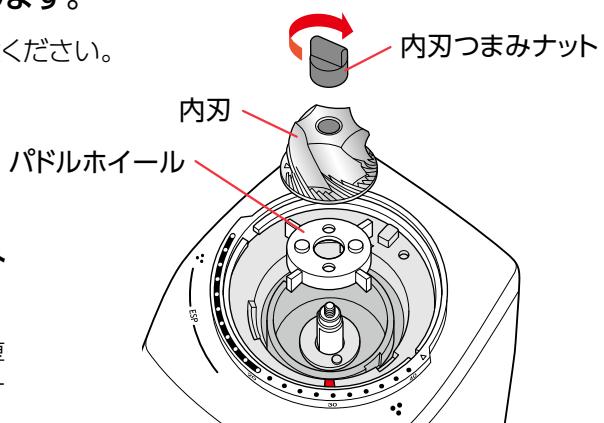


コーヒーの粉が固く詰まっている場合は

内刃とパドルホイールを分解して清掃してください。

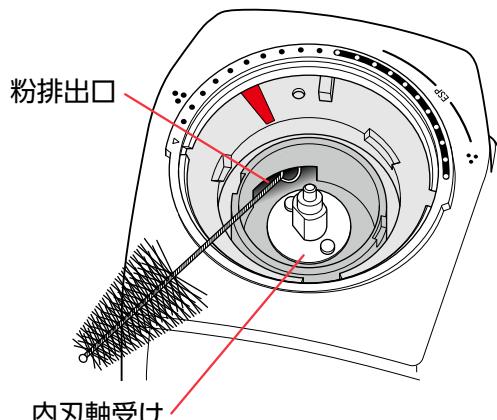
- 1** 内刃つまみナットを時計回りに回して取り外します。

内刃つまみナットは逆ネジになっていますので、ご注意ください。



- 2** 内刃、パドルホイールを順番に引き抜いて外します。

内刃つまみナットが固くて緩まない場合は、内刃を厚手の布などで回転しないよう保持した状態で、ラジオペンチなどの工具で挟んで時計回りに回します。



- 3** 清掃用ブラシの柄を使って粉排出口に詰まったコーヒーの粉を崩し、押し出します。

その後、内刃軸受けを指で押さえながら、本体を上下逆さまにしたり、掃除機で吸引するなどしてコーヒーの粉を取り除きます。

- 4** 内刃とパドルホイールに付着したコーヒーの粉を清掃用ブラシで擦り落とします。

仕上げに乾いた柔らかい布で全体を拭きます。

5 パドルホイール、内刃、内刃つまみナットを、前ページの**2**と逆の順番でグラインダーの軸に挿入します。

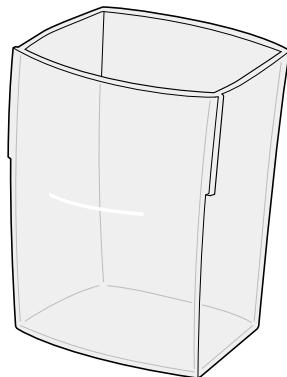
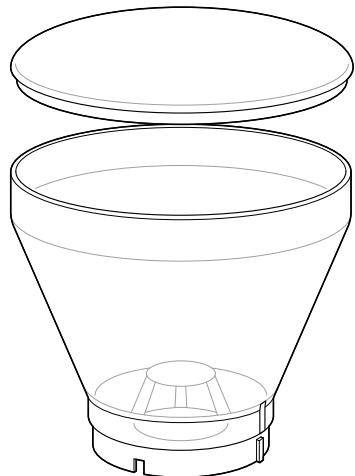
6 内刃つまみナットを反時計回りに回して締め込みます。

内刃つまみナットはグラインダー使用中に緩むことがあります。ラジオペンチなどの工具を使うとより強く締め込むことができます。

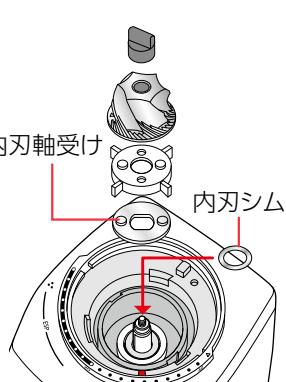
ホッパーのお手入れ

ホッパーフタ、ホッパー、径 58mm アダプターリング、粉カップトレイ、粉カップ小、粉容器大は水洗いすることができます。

洗った後は、よく乾燥させてください。



こんなときは

こんなとき	対処方法
ON/OFF スイッチを右(+)の方に切り替える、または、プッシュボタンを押しても、グラインダーが動かない	<p>電源プラグがコンセントに差し込まれているかを確認してください。</p> <p>ホッパーが正しく装着されていて、ホッパー挽き目マークが挽き目調整目盛の0～40の範囲にあることを確認してください。</p> <p>連続で使用するなどして、本体内部が高温になると保護回路により動かなることがあります。</p> <p>その場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく休ませます。温度が下がると保護回路がリセットされ、使用できるようになります。再度、電源プラグをコンセントに差して使用してください。</p> <p>上記対処をしても直らない場合は、電気系統の故障の可能性があります。お買い上げの販売店または当社コールセンターにご相談ください。</p>
グラインダーは動いているが、豆を挽くスピードが遅い	<p>挽いた粉がパドルホイールや粉排出口に詰まっている可能性があります。</p> <p>刃のお手入れにより解消することができます。(11ページ「刃のお手入れ」参照)</p>
目盛を変えていないのに、粉のサイズが変化した／粉のサイズにはらつきがある	<p>ご使用開始直後は、粉のサイズが変化しやすいです。</p> <p>挽き目調整目盛で調整してください。数週間経過すると刃がなじんで安定します。</p> <p>挽いた粉がパドルホイールや粉排出口に詰まったまま使用すると、合わせた目盛より細かな粉が増えます。この場合は刃のお手入れにより解消することができます。(11ページ「刃のお手入れ」参照)</p> <p>刃の構造上、適正なお手入れをしていただいても、ある程度の微粉の混入や粉サイズのはらつきは発生します。</p> <p>コーヒー粉ふるい等の道具で微粉を除去することができます。</p>
粉に押し固められたような「かたまり」が含まれ、粉の密度にはらつきがある	挽いた粉をパドルホイールで粉排出口から押し出す機構のため、適正なお手入れをしていただいても、ある程度押し固められたような「かたまり」ができることがあります。
内刃つまみナットを外せません	内刃つまみナットが固く緩まない場合は、内刃を厚手の布等使用して回転しないよう保持した状態で、ラジオペンチなどの工具でナットを挟んで時計回りに回します。
内刃つまみナットが頻繁に緩む	作動させると、内刃つまみナットが徐々に緩むことがあります。
同梱されている予備の内刃シムはどんなときに使いますか？	<p>工場出荷時に内刃と外刃の間隔が規定の範囲になっていることを確認しておりますが、ご使用開始直後は、内刃周囲の構成部品が徐々になじんでいく、刃の間隔がゆっくり変化します。</p> <p>目盛1に合わせても希望する細かさに挽けなくなってしまった場合は、同梱されている予備の内刃シムを内刃軸受けの下に追加してください。</p> <p>1枚追加すると、刃の間隔がエスプレッソの5目盛分狭くなり、目盛1の細かさが目盛6に変化します。</p> <p>豆を挽いているときに、内刃と外刃が接触しないように調整してご使用ください。</p> <p>内刃と外刃が接触すると、異音発生、刃の摩耗などが起こります。</p> <p>※場合によっては、予備シムを追加する必要がないこともあります。希望の粉の細かさや刃部品の変化量の差によるため。</p> 
部品が破損した／部品をなくした	15ページ「消耗品」に掲載された部品は購入いただけます。 お買い上げの販売店または当社コールセンターにお問い合わせください。
グラインダークリーナーは使用できますか	はい、お使いいただけます。「Grindz (グラインズ) グラインダークリーナー」をおすすめいたします。当社のオンラインショップ、販売店または当社コールセンターにお問い合わせください。

消耗品

ご購入が可能な消耗品

以下の部品・グラインダークリーナーを販売しております。お買い上げの販売店または当社コールセンターにお問い合わせください。

部品名称			
ホッパー フタ	ホッパー	ON/OFF スイッチ	粉容器大
粉カップ 小	径 58mm アダプターリング	粉カップトレイ	ホッパー ゴムリング
外刃アッセンブリー	外刃 オーリング	内刃つまみナット	内刃
パドルホイール・フェルトリングセット	内刃軸受け	内刃シムキット (2枚入り)	清掃用ブラシ

グラインダークリーナー

Grindz (グラインズ) グラインダークリーナー

アフターサービスについて

14ページ「こんなときは」の表によりお調べいただきても不具合が解消しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

別紙の「保証書」の保証規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。日本国内の一般家庭以外（国外、業務用使用等）での故障は、保証期間中でも原則として有料修理になります。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。その他詳細は「保証書」をご覧ください。

●販売店が独自に定める延長保証（長期保証）サービスをご利用の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）について、メーカー製造終了から最低5年間保有しております。

●アフターサービスについてご不明な点がございましたら、当社にお問合せください。

ご相談窓口：ブルーマチックジャパン株式会社 コールセンター

連絡先：0120-999-796 (受付時間：午前9時30分～午後5時)

保管方法

- 乾燥した清潔な場所に保管してください。
- 高温多湿な場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。(保管環境温度 4 ~ 60°C)
- 長期間使用しないときは、刃のお手入れを実施後、刃の付近に乾燥剤を入れて、購入時に入っていた箱に入れて保管してください。

廃棄について

製品を廃棄するときは、お住まいの各自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

仕様

品名・商品名	バラッツァ コーヒーブラインダー・Encore ESP (アンコール イーエスピー)
外形寸法	本体：幅 12.5cm × 奥行 15.5cm × 高さ 34.5cm 梱包：幅 19cm × 奥行 20cm × 高さ 37cm
重量	本体重量：2.6kg 梱包重量：3.4kg
電源・消費電力	AC100V 50/60Hz 130W
電源コードの長さ	約 1.4m
定格時間	1 分
推奨最大使用量	1kg／日 (例 20g × 50 回)
ホッパー・粉容器 容量	ホッパー：220g 粉容器大：124g 粉カップ小：24g
グラインドスピード (処理能力)	1.5 ~ 2.4g／秒
刃の仕様・材質・製造元	40 mm コニカル刃 モデル M2 材質：鋼鉄 製造元：Etzinger(エツツインガー)
挽き目調整仕様	全 40 段階手動スライド式 挽き目目盛 1 ~ 20：極細挽き～細挽き 挽き目目盛 21 ~ 40：中細挽き～粗挽き

※改良のために予告なく変更することがあります。

輸入／販売元

ブルーマチックジャパン株式会社

<http://www.brewmatic.co.jp>

住所：〒 224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

ご相談窓口：ブルーマチックジャパン株式会社 コールセンター

連絡先：0120-999-796 (受付時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時)

<https://www.brewmatic.co.jp/baratza/products/encore-esp/>

下記の二次元コードから商品案内の Web ページにアクセスすることができます。



©2023 ブルーマチックジャパン株式会社

01062023